

(様式第4号)

交流・文化施設等整備検討委員会第10回委員会概要

| | | |
|---|-----------|--|
| 1 | 会議名 | 交流・文化施設等整備検討委員会 |
| 2 | 日時 | 平成21年3月31日(火) 午後4時から5時30分まで |
| 3 | 会場 | 上田市役所本庁舎 6階大会議室 |
| 4 | 出席者 | 日端委員長、龍野副委員長、土本委員、美山委員、成沢委員、山浦委員、山崎委員、 関口委員、石川委員、塚田委員、岡村委員、浦委員、竹花委員、山岸委員、柄沢委員、 桜井委員、竹内委員、宮下委員、宮本委員、 【欠席委員】伊藤委員、森委員、西澤委員、小川委員、田中委員、清住委員、 |
| 5 | 市側出席者 | 母袋市長、石黒副市長、大澤政策企画局長、小菅教育次長、 宮川政策企画課長、中部文化振興課長、中山公園緑地課長、清水都市計画課長、 伊藤交流・文化施設建設準備室長、若林係長、室賀係長、徳田主任、 |
| 6 | 運営支援業務受託者 | 室賀建築設計事務所 室賀欣一氏 |
| 7 | 公開・非公開等の別 | 公開・一部公開・非公開 |
| 8 | 傍聴者2人 | 記者5人 |
| 9 | 会議概要作成年月日 | 平成21年4月1日 |

協議事項等

1 開会(大澤政策企画局長)

2 委員長あいさつ

3/24に開催の第9回委員会で作された意見を基に中間報告案が作成されている。今日はこの案について意見をいただき、会議の最後には、検討委員会から市長に中間報告を行いたい。

3 議事

(1) 中間報告書のまとめについて

事務局:(資料の説明)

委員長:何かご意見は。まず私からの意見だが、P.11の表2については延床面積や客席数についても平均値を入れるべき。次に、強調すべき部分に下線があるが不要ではないか。それから、P.8の表1「管理部門」内、「(託児)サポート施設」の部分の()も不要。

委員:P.2の上から10行目、「次代を～」は「次世代を～」がよい。

委員:見出し数字の体裁が統一されていない。例えば1の後は(1)、その後は、のように統一すべき。特に強調したい部分については線で四角に囲む方法もある。

事務局:現時点での意見を基にした修正点を確認したい。P.2の「次代」は「次世代」に換え、P.5「施設整備の方向性」内の～は(1)～(5)に変更。P.6～7の下線とP.8表1内の(託児)は()を削除し、P.11表2は、延床面積の平均値17,648㎡、客席数の平均値1,516席を追加する。それからP.5「施設整備の方向性」に「人にも地球に優しい」とあるが、これは「人にも地球にも優しい」に修正し、P.9「施設配置イメージ」1行目、「(図2)は～」とあるがこの()を削除、次の「施設配置の基本的な考え方」の(ア)～(ウ)も～に改めたい。

委員長:「施設配置の基本的な考え方は以下のとおりです」とすればどうか。

事務局:指摘のとおり修正したい。

委員:よい文章に仕上がっているが、P.12「公費の負担軽減に努めるべき～」について、この委員会でも財政状況について議論を行ったという意味から、最後の3行については下線を引くべき。

委員長:まだ中間報告の段階のため、今後パブリックコメントなどで市民の皆さんの意見をいただきながら、検討委員会で引続き議論していくべきではないか。ここだけ下線を引くと分かりにくい。

委員:非常に大きな事業にも関わらず事業費の積立を行ってきていない。市の計画の中にもっと盛込んでおくべきであった。したがって、事業費についてももう少し議論していく必要がある。

委員:あくまで中間報告であり、例えば座席数にしても一定の方向づけのみとなっている。事業費についても最終的には盛込まれていくが、先程の文章などを訂正すれば内容としては十分。今回はこの内容で了承をいただいて、今後さらに内容の検討をしていくという事をお願いしたい。

委員長:わかりました。それでよろしいか。

委員:(賛成)

委員：詳細な部分まで盛り込まれており基本的には賛成。P.10「運営のマネジメント能力」に「舞台芸術に関する高度な専門性を備えた人材を確保するなど」とあるが、その中に美術関係の学芸員というような表現も必要。「など」に含まれているという事でもよいが、美術館での展示など企画運営する上ではかなり専門的な人材が必要。

委員長：「舞台芸術、美術館運営に関する高度な専門性～」という表現が出来るがどうか。

事務局：重要な指摘ではあるが、今後の検討を踏まえ、「など」という表現に含ませていただきたい。

委員：市民のニーズをつかみ、企画し、また上田の財産を全国にPRするためには高い専門性が必要。「など」に含まれるという事でもよいが、貸館的な美術館で終わらないためにも今後検討すべき。

委員長：今日の段階では「など」に含むが、今後議論することとしたい。

委員：若い人達の就職難という状況を考えると、市が専門職を求めれば、県外の学生が卒業後に希望を持って上田に戻ってくる。またこれは地域活性にもつながる。

委員長：ご意見という事でよろしいか。

委員：(賛成)

委員長：これまでの意見で中間報告案を修正し、休憩後に市長に中間報告書を渡したいがよろしいか。

委員：(賛成)

(2) その他

事務局：中間報告後の予定について、市民の皆様からその内容について広くご意見をいただくため、「広報うただ」5月号で中間報告の内容を掲載し、また地区別・階層別での市民公聴会や、パブリックコメントを実施する予定。その後、再度検討委員会を開催、最終報告に向けて議論をいただき、最終報告後の秋頃には市で整備基本計画を策定したい。したがって次回検討委員会の開催までにはしばらく時間をいただくこととなるが、引続きご理解とご協力をお願いしたい。

委員長：今後の進め方について何かご意見は。

委員：(なし)

事務局：ここで、所属機関と転任の関係により、本日で退任される委員から一言ご挨拶をいただきたい。

石川委員：この度、長野県教育委員会の指導主事として東信教育事務所へ転任となった。東信の吹奏楽連盟から選出されているため後任者に交代となる。今までありがとうございました。

事務局：ありがとうございました。それでは、10分間の休憩をお願いしたい。

(～10分間休憩～)

4 中間報告書の提出

事務局：交流・文化施設等整備検討委員会を代表し、日端委員長、龍野副委員長から、中間報告書を母袋市長にお渡しいただきたい。

委員長：上田市長 母袋創一殿、「JT 開発地における交流・文化施設のありかたについて 中間報告」、平成20年8月1日付け、貴職から依頼を受けました「交流・文化施設」及び「市民緑地・広場」の整備内容について、本検討委員会は調査・検討の結果、別冊のとおり中間報告します。

市長：中間報告をいただき御礼申し上げます。市民意向調査や利用者団体懇談会での市民の声を大切にいただき、また専門家からの意見も踏まえ、皆様に大変なご苦勞をお掛けしたと思う。市民あるいは団体の代表の皆さんにこうして議論をいただいたことは、市民に対しても自信を持って報告・発信できるものであり、また実現する価値が十分にあるものとして考えている。恐らくは50年、60年に一度の大きなプロジェクトであり、慎重にも慎重を重ねるわけだが、スピードと、市民への説明責任も重要な要素であると考えている。この中間報告を基に、広く市民の皆様のご意見をお伺いし、これを踏まえながら最終報告に向けての議論をお願いしたい。ありがとうございました。

5 閉会(大澤政策企画局長)

* 会議概要は原則として公開します。会議終了後、1週間以内に行政改革推進室へ提出してください

* 非公開及び一部非公開としたものについては、その理由を記載してください。